

1. 件 名：近畿大学原子力研究所原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和元年10月24日 13:30～18:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室
葛澤防災専門職、川原防災専門職
近畿大学原子力研究所
管理室長 他1名

5. 要 旨

近畿大学原子力研究所から、令和元年11月19日に予定されている同所の原子力事業者防災訓練の計画概要について、資料1に基づき以下の説明があった。

- ・ 中期計画上の今年度訓練の位置付け
- ・ 今年度訓練の目的・達成目標
- ・ 主な検証項目
- ・ 実施・評価体制
- ・ 訓練の項目・内容（防災業務計画の記載との整合）
- ・ 訓練シナリオ
- ・ 令和元年度評価指標のうち主に[P(計画)]、[D(実行)]に関する内容

原子力規制庁として、令和元年度訓練評価指標に基づき、資料1により計画段階で確認する評価項目について確認を行ったところ、ERCとの情報共有として有効なCOP（共通状況図）の作成・活用、FAX通信機の代替手段、EAL非該当となった場合の対応、25条報告の発出タイミングの考え方、前年度訓練課題への要素訓練等での検証結果、広報訓練及び後方支援活動の実施範囲、訓練での他事業者見学可否について一部不明瞭なため、明示の上再提出するよう伝えた。なお、前回訓練での課題対策の反映として、業務計画、作業要領等の改訂や新規作成を図り、それら周知教育や要素訓練を計画の上、総合訓練までに完了予定であることを確認した。また、ERC書架内配備資料として更なる資料配備の充実を図ること、及び事業者防災訓練の実施スケジュール補足事項（資料2）について説明を行った。

今後、原子力規制庁と近畿大学原子力研究所の訓練コントローラ間で調整しながら訓練実施に向けて準備を進めることとした。

6. その他

配布資料：

資料1 防災訓練事前面談資料（近畿大学原子力研究所）

資料2 事業者防災訓練の実施スケジュール補足事項（原子力規制庁）